

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
外国語 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	2
担当教員	William Jackson			実務経験	有	職種	英語講師				
担当教員紹介											
英国にて英語を教えるための資格を取り、２０１０年から11年間日本で英会話講師として従事。小学生から大学生、大人まで、あらゆる年齢層に教えた経験があり、都内公立学校と私立学校の両方で働き、会話、文法、英語をそれぞれの学校に合わせたさまざまなスタイル、テスト、学習方法で指導している。											
授業概要											
講師の英語を聴きながらのテキストの読み合わせ。分からない単語のメモ。授業後、次の授業までに意味の検索。画像、映像視聴。ダンス授業・レッスンで使用される英語歌詞楽曲を活用しての授業。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
実用性のある英語を活用したコミュニケーション能力の向上。英語力習得の価値の理解。異文化に触れることでの多様性の理解。学校受験目的の勉強で起きてしまっている英語に対するアレルギー反応の除去。技術の進歩によって、IQの向上よりEQの向上が合理的だと言うことの理解。（勿論IQ向上も大切ではありますが。）											
成績評価方法											
試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する									
レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
課題提出締め切り日までに課題を提出すること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
「A Plus」、その他の資料は授業ごとに配布する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス、テキスト Chapter10前半の実施										
第2回	ガイダンス、テキスト Chapter10の前半の復習、Chapter10後半の実施										
第3回	ガイダンス、テキスト Chapter10後半の復習、Chapter11の実施										
第4回	ガイダンス、テキスト Chapter11の復習、Chapter12の実施										
第5回	ガイダンス、テキスト Chapter12の復習、Chapter13の実施										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
外国語 2	
第6回	ガイダンス、テキスト Chapter13の復習、Chapter14の実施
第7回	ガイダンス、テキスト Chapter14の復習、Chapter15の実施
第8回	ガイダンス、テキスト Chapter15の復習、Chapter16の実施
第9回	ガイダンス、テキスト Chapter16の復習、Chapter17の実施
第10回	英語実技発表2
第11回	総合的なまとめ
第12回	英会話術 1
第13回	英会話術 2
第14回	英会話術 3
第15回	英会話術 4